2018・2019年度の予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（年間計画）

2018年２月９日

空　白

1. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2018年度）平日

（単位：MW）

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	夜間・連系線作業時等
北海道本州間連系設備	北海道⇒東北			シート５参照										
	東北⇒北海道													
東北東京間連系線	東北⇒東京	588	518	628	808	808	688	532	622	682	732	732	672	
	東京⇒東北			シート6参照										
東京中部間連系設備	東京⇒中部	600	600	630	760	760	680	600	600	660	700	700	640	6/8昼間は600
	中部⇒東京	600	600	620	800	800	690	600	620	680	720	720	660	6/1昼間,6/8昼間は600
中部北陸間連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北陸関西間連系線	中部⇒北陸	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	4/2～6,9～13は0 5/6～6/13は0 夜間は0
	関西⇒北陸													
	北陸⇒関西	50	50	60	70	70	60	50	50	60	60	60	60	
中部関西間連系線	中部⇒関西	270	260	290	360	360	320	260	280	310	330	330	290	
	関西⇒中部	280	290	310	370	370	330	300	300	330	350	350	320	6/30昼間は230
関西中国間連系線	関西⇒中国	230	230	250	320	320	270	230	250	280	300	300	270	
	中国⇒関西	260	260	280	350	350	320	260	270	300	330	330	290	
関西四国間連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間連系線	中国⇒四国	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	4/2～6,9は0 4/28～5/29は0 10/15,16は0 3/4～8,11～15は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

（注）・想定需要の見直し等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
・4月分は既に月間断面となっており、マージンの値が減少となっている断面もあり

1．予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2018年度）休日

（単位：MW）

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	夜間・連系線作業時等
北海道本州間連系設備	北海道⇒東北			シート５参照										
	東北⇒北海道													
東北東京間連系線	東北⇒東京	458	458	458	688	688	578	462	482	622	662	652	572	
	東京⇒東北			シート6参照										
東京中部間連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	620	600	600	600	600	620	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	690	690	600	600	600	610	650	640	600	
中部北陸間連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北陸関西間連系線	関西⇒北陸													
	北陸⇒関西	50	50	50	60	60	50	40	50	50	60	60	50	
中部関西間連系線	中部⇒関西	240	220	240	290	300	270	220	240	270	290	290	250	
	関西⇒中部	210	220	230	280	290	270	250	260	290	300	290	250	3/24昼間は200
関西中国間連系線	関西⇒中国	210	200	220	270	270	230	210	230	260	270	270	230	
	中国⇒関西	230	220	230	290	300	260	220	230	270	290	280	240	
関西四国間連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間連系線	中国⇒四国	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	4/1,7,8は0 4/28～5/29は0 3/2,3,9,10は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

（注）・想定需要の見直し等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
・4月分は既に月間断面となっており、マージンの値が減少となっている断面もあり

1. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2018年度）〔北本連系設備〕

＜平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯＞

（単位：MW）

連系線	方向	4月				5月				6月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道本州間連系設備	北海道⇒東北	238	258	278	278	278	298	298	308	508	508	458	458
	東北⇒北海道	508	518	528	528	528	538	538	538	518	538	538	548
	方向	7月				8月				9月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
	北海道⇒東北	508	508	508	508	508	508	508	508	508	508	508	508
	東北⇒北海道	518	538	538	538	508	538	528	538	518	538	538	538
	方向	10月				11月				12月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
	北海道⇒東北	252	292	282	292	212	252	252	252	182	212	202	192
	東北⇒北海道	522	542	532	542	502	522	522	522	482	502	492	492
	方向	1月				2月				3月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
	北海道⇒東北	192	192	232	192	192	192	212	172	232	232	272	252
	東北⇒北海道	462	462	512	492	482	472	502	482	512	512	532	522

＜北本作業時等＞

（単位：MW）

連系線	方向	5月（運用容量300MW時）				10月（運用容量300MW時）				備　考	
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N		
北海道本州間連系設備	北海道⇒東北	138	138	98	98	142	142	102	102	（5月） 運用容量300MW 平P・N　14～18日 休P・N　12～13日 運用容量0MW 休P・N　19日	（10月） 運用容量300MW 平P・N　11～12,17～19,22,24日 休P・N　20日 運用容量0MW 平日P・N　10日 休日P　13,21日
	東北⇒北海道	300	300	300	300	300	300	300	300		
	方向	1月（運用容量300MW時）				3月（運用容量900MW時）				備　考	
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N		
	北海道⇒東北	—	—	182	—	232	232	272	252	（1月） 休P　14日	（3月） 平P　29日 平N　29日 休P　30～31日 休N　30～31日
	東北⇒北海道	—	—	300	—	512	512	532	522		

（注）・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

・増強により運用容量が増加する北海道本州間連系設備（＋30万kW：2019年3月運開予定）において、増強後のマージンについては扱いを検討中のため、上表の値にはこれを考慮していない。（運用開始までにマージンの必要量を検討。なお、広域機関システム上における年間計画の公表値は、扱いが決まるまではマージンに増強分の容量を加算）

1．予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2018年度）〔東北東京間連系線（東京⇒東北）〕

〔２０１８年度〕

（単位：MW）

平休日	昼夜	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平日	昼間	318	298	328	378	320	348	322	362	392	412	412	392
	夜間	280	250	270※1	280	240	280	270	300	340	380	390	360※2
休日	昼間	298	260	298	328	300	318	310	330	362	340	372	342
	夜間	280	230	280	280	230	280	270	290	362	360	372	342

※1:6/11～15は328 （連系線作業による）
※2:3/11～15は392 （連系線作業による）

（注）・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
・4月分は既に月間断面となっており、マージンの値が減少となっている断面もあり

2．予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度）平日

（単位：MW）

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	夜間・連系線作業時等
北海道本州間連系設備	北海道⇒東北			シート9,10参照										
	東北⇒北海道													
東北東京間連系線	東北⇒東京	592	532	642	822	822	712	543	633	698	748	748	688	
	東京⇒東北			シート11参照										
東京中部間連系設備	東京⇒中部	600	600	630	760	760	680	600	600	660	700	700	640	12/2~6、3/23~25は600
	中部⇒東京	600	600	630	810	810	690	600	620	680	720	720	660	11/11~15、11/18~22、11/25~29、12/2~6、3/23~25は600
中部北陸間連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	10/24は0 夜間は0
北陸関西間連系線	関西⇒北陸													
	北陸⇒関西	50	50	60	70	70	60	50	50	60	60	60	60	10/24昼間は0
中部関西間連系線	中部⇒関西	270	260	290	360	360	320	260	280	310	330	330	290	
	関西⇒中部	280	290	310	380	380	330	310	300	330	350	350	330	6/1昼間は210
関西中国間連系線	関西⇒中国	230	230	250	320	320	270	230	250	280	300	300	270	
	中国⇒関西	260	260	280	350	350	320	260	270	300	330	330	290	
関西四国間連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間連系線	中国⇒四国	700	700	700	700	700	450	450	700	700	700	700	700	4/6~5/27は0 10/30,31は0 12/11昼間,12/12昼間は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

（注）・想定需要の見直し等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

OCCTO

2．予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度）休日

（単位：MW）

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	夜間・連系線作業時等
北海道本州間連系設備	北海道⇒東北			シート9,10参照										
	東北⇒北海道													
東北東京間連系線	東北⇒東京	472	472	472	712	712	602	473	493	638	668	668	588	
	東京⇒東北			シート11参照										
東京中部間連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	620	600	600	600	600	620	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	690	690	600	600	600	610	650	640	600	12/1,7は600
中部北陸間連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北陸関西間連系線	関西⇒北陸													
	北陸⇒関西	50	50	50	60	60	50	40	50	50	60	60	50	
中部関西間連系線	中部⇒関西	230	220	240	290	300	270	220	240	270	290	290	250	
	関西⇒中部	210	220	240	280	290	280	250	270	290	300	290	250	6/2昼間は160
関西中国間連系線	関西⇒中国	210	200	220	270	270	230	210	230	260	270	270	230	
	中国⇒関西	230	220	230	290	300	260	220	230	270	290	280	240	
関西四国間連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間連系線	中国⇒四国	700	700	700	700	700	450	450	700	700	700	700	700	4/6～5/27は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

（注）・想定需要の見直し等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

2．予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度）〔北本連系設備〕

＜平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯＞

（単位：MW）

連系線	方向	4月				5月				6月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道本州間連系設備	北海道⇒東北	242	262	282	282	292	312	312	312	522	522	472	472
	東北⇒北海道	512	522	532	532	542	552	552	552	532	552	552	552
	方向	7月				8月				9月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
	北海道⇒東北	522	522	522	522	522	522	522	522	522	522	522	522
	東北⇒北海道	452	472	472	472	442	472	462	472	452	472	472	472
	方向	10月				11月				12月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
	北海道⇒東北	263	303	293	303	213	253	263	263	198	218	218	198
	東北⇒北海道	453	473	463	473	533	543	553	553	518	538	528	528
	方向	1月				2月				3月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
	北海道⇒東北	208	208	238	198	208	208	228	188	248	248	288	268
	東北⇒北海道	498	498	538	528	518	508	538	518	548	548	568	558

＜北本作業時等は次頁＞

2．予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度）〔北本連系設備〕

＜北本作業時等＞　＜平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯＞　（単位：MW）

連系線	方向	5月（運用容量600MW時）				5月（運用容量300MW時）				備　考	
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N		
北海道本州間連系設備	北海道⇒東北	292	312	312	312	152	152	112	112	（5月運用容量600MW） 平P・N　14～17,20～22,28～31日 休P・N　18,19日	（5月運用容量300MW） 平P・N　23,24,27日 休P・N　25,26日
	東北⇒北海道	542	552	552	552	300	300	300	300		

方向	6月（運用容量600MW時）				7月（運用容量600MW時）				備　考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N		
北海道⇒東北	522	522	472	472	522	522	522	522	（6月運用容量600MW） 平P・N　3～7,10～12日 休P・N　1～2,8～9日	（7月運用容量600MW） 平P・N　16～19,22～26,29～31日 休P　14～15,20～21,27～28日 休N　13～15,20～21,27～28日
東北⇒北海道	532	552	552	552	452	472	472	472		

方向	7月（運用容量300MW時）				8月（運用容量600MW時）				備　考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N		
北海道⇒東北	—	—	300	—	522	522	522	522	（7月運用容量300MW） 休P　13日	（8月運用容量600MW） 平P・N　1～2,5～9日 休P　3～4,10日 休N　3～4,10～11日
東北⇒北海道	—	—	300	—	442	472	462	472		

方向	8月（運用容量300MW時）				10月（運用容量600MW時）				備　考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N		
北海道⇒東北	—	300	—	—	263	303	293	303	（8月運用容量300MW） 休P　11日	（10月運用容量600MW） 平P・N　2～4,7～11,28～29日 休P・N　5～6,26～27日
東北⇒北海道	—	300	—	—	453	473	463	473		

方向	10月（運用容量300MW時）				1月（運用容量600MW時）				備　考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N		
北海道⇒東北	153	153	—	—	208	208	238	198	（10月運用容量300MW） 平P　1,4,30日 平N　1日	（1月運用容量600MW） 平P・N　16～17,20～24,27～31日 休P・N　18～19,25～26日
東北⇒北海道	300	300	—	—	498	498	538	528		

方向	2月（運用容量600MW時）				3月（運用容量600MW時）				備　考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N		
北海道⇒東北	208	208	228	188	248	248	288	268	（2月運用容量600MW） 平P・N　3～7,10,12～14,17～21,24～28日 休P・N　1～2,8～9,11,15～16,22～23,29日	（3月運用容量600MW） 平P・N　2～6,9～13,16～19,23～27,30日 休P・N　1,7～8,14～15,20～22,28～29日
東北⇒北海道	518	508	538	518	548	548	568	558		

方向	3月（運用容量300MW時）								備　考	
	平P	平N	休P	休N						
北海道⇒東北	198	198	—	—					（3月運用容量300MW） 平P　31日 平N　31日	
東北⇒北海道	300	300	—	—						

（注）・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
・増強により運用容量が増加する北海道本州間連系設備（＋30万kW：2019年3月運開予定）において、増強後のマージンについては扱いを検討中のため、上表の値にはこれを考慮していない。（運用開始までにマージンの必要量を検討。なお、広域機関システム上における年間計画の公表値は、扱いが決まるまではマージンに増強分の容量を加算）

〔２０１９年度〕

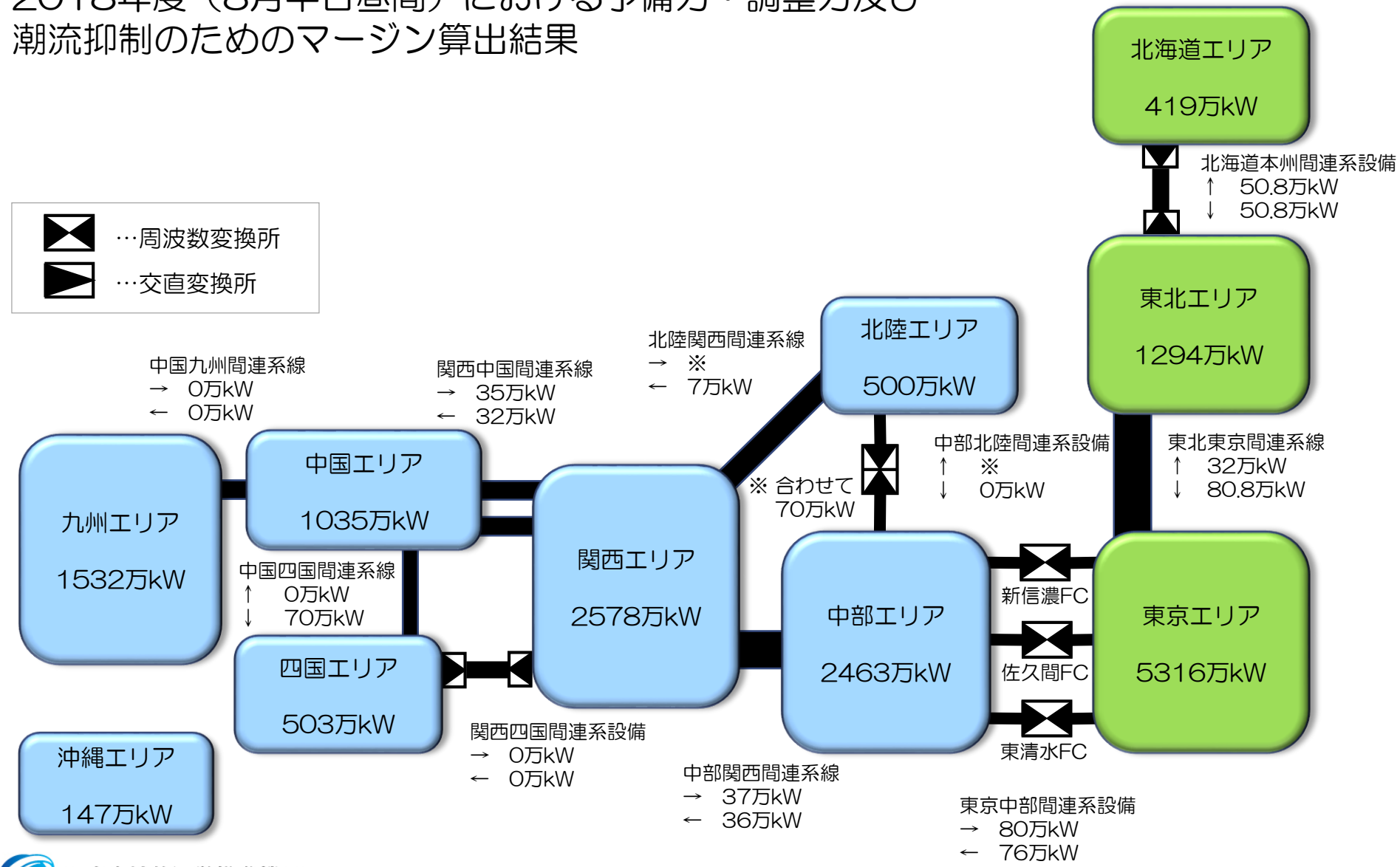
（単位：MW）

平休日	昼夜	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平日	昼間	322	312	332	380	320	362	333	373	408	428	428	390
	夜間	280	250	260※1	280	240	280	270	300	340	380	400	340
休日	昼間	300	260	300※2	330	300	330	310	330	370	340	388	340
	夜間	280	230	260※2	280	230	280	270	290	380	360	388	340

※1：6/10～14は332 （連系線作業による）
※2：6/8、9は302 （連系線作業による）

（注）・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
・4月分は既に月間断面となっており、マージンの値が減少となっている断面もあり

2018年度（8月平日昼間）における予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン算出結果



各エリア内数値は、2018年度（8月）送電端最大3日平均電力予想（H3）を表す。

参考）予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージンと確保理由

連系線	方向	マージンを確保する理由 ＜　＞：第11回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会で再整理した区分
北海道本州間連系設備	北海道⇒東北	東京エリアの融通期待量（系統容量の３％相当）の一部を確保するため。但し、北海道エリアの周波数の上昇及び低下を一定値以内に抑えることができる値を上限とする。具体的には、次のうち大きい値とする。 ①北海道本州間連系設備の運用容量から、当該連系設備が緊急停止した場合に北海道エリアの周波数の上昇が一定値以内となる最大の潮流の値を差し引いた値 ＜C1＞ ②東京エリアの系統容量の３％相当の半量のうち、東京エリアが需給ひっ迫した場合において北海道エリアから供給が期待できる値 ＜A1＞ また、上記に加えて、※３を加える。＜B0＞
	東北⇒北海道	北海道エリアの電源のうち、出力が最大である単一の電源の最大出力が故障等により失われた場合にも、北海道エリアの周波数低下を一定値以内に抑制するため。 ＜B1＞ 但し、北海道本州間連系設備の運用容量から、当該連系設備が緊急停止した場合に北海道エリアの周波数低下が一定値以内となる潮流の値を差し引いた値の方が大きい場合は、その値とする。 ＜C1＞ また、上記に加えて、※３を加える。＜B0＞
東北東京間連系線	東北⇒東京	東京エリアの融通期待量（系統容量の３％相当）の半量を確保するため ＜A1＞ 但し、台風や暴風雪等の予見可能なリスクが高まった場合に、電力系統を安定に維持するため、東京エリア内で想定する送電線の故障により複数の電源が脱落した場合に東北エリアから東京エリアに流れる最大の潮流の値の方が大きい場合は、その値とする。＜C2＞ また、上記に加えて、※３を加える。＜B0＞
	東京⇒東北	東北エリアの融通期待量（系統容量の３％相当）を確保するため ＜A1＞ また、上記に加えて、※３を加える。＜B0＞
東京中部間連系設備	東京⇒中部	中部及び関西エリアの融通期待量（系統容量の合計の３％相当）の半量を確保するため ＜A1＞
	中部⇒東京	東京エリアの融通期待量（系統容量の３％相当）の半量を確保するため ＜A1＞

参考）予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージンと確保理由

連系線	方向	マージンを確保する理由 ＜　＞：第11回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会で再整理した区分
中部北陸間連系設備	北陸⇒中部	なし
	中部⇒北陸	北陸エリアの融通期待量（出力が最大である単一の電源の最大出力（但し、当該電源が発電する電気を継続的に供給区域外へ供給している場合は、当該供給量を控除した値とする。以下、最大電源相当量））※1を確保するため ＜A1＞
北陸関西間連系線	関西⇒北陸	
	北陸⇒関西	関西エリアの融通期待量（系統容量の３％相当）※2を確保するため ＜A1＞
中部関西間連系線	中部⇒関西	関西エリアの融通期待量（系統容量の３％相当）※2を確保するため ＜A1＞
	関西⇒中部	中部エリアの融通期待量（系統容量の３％相当）の半量を確保するため ＜A1＞
関西中国間連系線	関西⇒中国	中国エリアの融通期待量（系統容量の３％相当）を確保するため ＜A1＞
	中国⇒関西	関西エリアの融通期待量（系統容量の３％相当）※2を確保するため ＜A1＞
関西四国間連系設備	関西⇒四国	なし
	四国⇒関西	なし
中国四国間連系線	中国⇒四国	四国エリアの融通期待量（最大電源相当量）を確保するため ＜A1＞
	四国⇒中国	なし
中国九州間連系線	中国⇒九州	なし
	九州⇒中国	なし

※１　中部北陸間連系設備及び北陸関西間連系線と合わせて確保する。（北陸フェンスにて管理）
※２　北陸関西間連系線、中部関西間連系線及び関西中国間連系線と合わせて確保する。（系統容量見合いで配分）
※３　北海道風力実証試験にかかるマージンとして、調整力のエリア外調達のため。具体的には、北海道風力実証試験のために連系する風力発電の予測誤差に対応できる値

連系線マージンのあり方を検討中の調整力及び需給バランス評価等に関する委員会での整理事項は、都度反映していく予定

参考） 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン内訳（2018年度上期）〔北本連系設備〕

＜平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯＞

（単位：MW）

方向	区分	4月				5月				6月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	230	250	270	270	270	290	290	300	250	290	290	300
	A1	150	150	120	120	130	130	90	90	500	500	450	450
	B0	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
		238	258	278	278	278	298	298	308	508	508	458	458
東北⇒北海道	B1	500	510	520	520	520	530	530	530	510	530	530	540
	C1	420	430	440	440	440	450	450	450	430	450	450	460
	B0	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
		508	518	528	528	528	538	538	538	518	538	538	548

方向	区分	7月				8月				9月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	240	300	280	290	230	290	270	290	250	300	280	290
	A1	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
	B0	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
		508	508	508	508	508	508	508	508	508	508	508	508
東北⇒北海道	B1	510	530	530	530	500	530	520	530	510	530	530	530
	C1	430	450	450	450	420	450	440	450	430	450	450	450
	B0	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
		518	538	538	538	508	538	528	538	518	538	538	538

（説明）
- 区分についてはシート21、22を参照
- 北海道⇒東北向きについては区分Ｃ１とＡ１のうち大きい値、東北⇒北海道向きについては区分Ｂ１とＣ１のうち大きい値に、区分Ｂ０の値を加えた値をマージンの値とする
- 想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

参考） 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン内訳（2018年度下期） 〔北本連系設備〕

＜平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯＞

（単位：MW）

方向	区分	10月				11月				12月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	240	280	270	280	200	240	240	240	170	200	190	180
	A1	130	130	90	90	160	160	120	120	170	170	160	160
	B0	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		252	292	282	292	212	252	252	252	182	212	202	192
東北⇒北海道	B1	510	530	520	530	490	510	510	510	470	490	480	480
	C1	430	450	440	450	410	430	430	430	390	410	400	400
	B0	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		522	542	532	542	502	522	522	522	482	502	492	492

方向	区分	1月				2月				3月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	120	130	220	180	150	150	200	160	220	220	260	240
	A1	180	180	170	170	180	180	160	160	170	170	140	140
	B0	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		192	192	232	192	192	192	212	172	232	232	272	252
東北⇒北海道	B1	450	450	500	480	470	460	490	470	500	500	520	510
	C1	370	370	420	400	390	380	410	390	420	420	440	430
	B0	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		462	462	512	492	482	472	502	482	512	512	532	522

（説明）
- 区分についてはシート21、22を参照
- 北海道⇒東北向きについては区分Ｃ１とＡ１のうち大きい値、東北⇒北海道向きについては区分Ｂ１とＣ１のうち大きい値に、区分Ｂ0の値を加えた値をマージンの値とする
- 想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

参考） 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン内訳（2019年度上期）〔北本連系設備〕

＜平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯＞

（単位：MW）

方向	区分	4月				5月				6月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	230	250	270	270	270	290	290	290	250	290	290	290
	A1	150	150	120	120	130	130	90	90	500	500	450	450
	B0	12	12	12	12	22	22	22	22	22	22	22	22
		242	262	282	282	292	312	312	312	522	522	472	472
東北⇒北海道	B1	500	510	520	520	520	530	530	530	510	530	530	530
	C1	420	430	440	440	440	450	450	450	430	450	450	450
	B0	12	12	12	12	22	22	22	22	22	22	22	22
		512	522	532	532	542	552	552	552	532	552	552	552

方向	区分	7月				8月				9月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	240	290	280	290	230	290	270	290	240	290	280	290
	A1	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
	B0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
		522	522	522	522	522	522	522	522	522	522	522	522
東北⇒北海道	B1	430	450	450	450	420	450	440	450	430	450	450	450
	C1	430	450	450	450	420	450	440	450	430	450	450	450
	B0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
		452	472	472	472	442	472	462	472	452	472	472	472

（説明）
- 区分についてはシート21、22を参照
- 北海道⇒東北向きについては区分Ｃ１とＡ１のうち大きい値、東北⇒北海道向きについては区分Ｂ１とＣ１のうち大きい値に、区分Ｂ０の値を加えた値をマージンの値とする
- 想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

参考） 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン内訳（2019年度下期）〔北本連系設備〕

＜平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯＞

（単位：MW）

方向	区分	10月				11月				12月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	240	280	270	280	190	230	240	240	170	190	190	170
	A1	130	130	90	90	160	160	120	120	170	170	160	160
	B0	23	23	23	23	23	23	23	23	28	28	28	28
		263	303	293	303	213	253	263	263	198	218	218	198
東北⇒北海道	B1	430	450	440	450	510	520	530	530	490	510	500	500
	C1	430	450	440	450	410	420	430	430	390	410	400	400
	B0	23	23	23	23	23	23	23	23	28	28	28	28
		453	473	463	473	533	543	553	553	518	538	528	528

方向	区分	1月				2月				3月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	120	120	210	170	150	150	200	160	220	220	260	240
	A1	180	180	160	160	180	180	160	160	170	170	140	140
	B0	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
		208	208	238	198	208	208	228	188	248	248	288	268
東北⇒北海道	B1	470	470	510	500	490	480	510	490	520	520	540	530
	C1	370	370	410	400	390	380	410	390	420	420	440	430
	B0	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
		498	498	538	528	518	508	538	518	548	548	568	558

（説明）
- 区分についてはシート21、22を参照
- 北海道⇒東北向きについては区分Ｃ１とＡ１のうち大きい値、東北⇒北海道向きについては区分Ｂ１とＣ１のうち大きい値に、区分Ｂ0の値を加えた値をマージンの値とする
- 想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

参考） 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン内訳（2018年度）〔東北東京間連系線〕

〔平日〕

（単位：MW）

方向	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北⇒東京	A1	580	510	620	800	800	680	520	610	670	720	720	660
	B0	8	8	8	8	8	8	12	12	12	12	12	12
		588	518	628	808	808	688	532	622	682	732	732	672
東京⇒東北	A1	310	290	320	370	380	340	310	350	380	400	400	380
	B0	8	8	8	8	8	8	12	12	12	12	12	12
		318	298	328	378	388	348	322	362	392	412	412	392
【参考】運用容量	昼間	350	330	370	380	320	370	360	380	420	460	460	410
	夜間	280	250	270	280	240	280	270	300	340	380	390	360

〔休日〕

（単位：MW）

方向	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北⇒東京	A1	450	450	450	680	680	570	450	470	610	650	640	560
	B0	8	8	8	8	8	8	12	12	12	12	12	12
		458	458	458	688	688	578	462	482	622	662	652	572
東京⇒東北	A1	290	270	290	320	330	310	300	330	350	380	360	330
	B0	8	8	8	8	8	8	12	12	12	12	12	12
		298	278	298	328	338	318	312	342	362	392	372	342
【参考】運用容量	昼間	300	260	310	330	300	330	310	330	370	340	400	360
	夜間	280	230	280	280	230	280	270	290	380	360	410	360

（説明）
- 区分についてはシート21、22を参照
- 区分A1にB0を加えた値とする
- ■ 個所は、昼間や夜間に運用容量を超えたマージンとなる場合があることから、昼間・夜間帯別に運用容量を上限にマージンを設定する（マージンが赤字の値となる）。想定需要の見直しや系統構成の見直し等により運用容量が変更となる場合は、マージンも変更する
- 想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

参考） 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン内訳（2019年度）〔東北東京間連系線〕

〔平日〕

（単位：MW）

方向	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北⇒東京	A1	580	510	620	800	800	690	520	610	670	720	720	660
	B0	12	22	22	22	22	22	23	23	28	28	28	28
		592	532	642	822	822	712	543	633	698	748	748	688
東京⇒東北	A1	310	290	310	370	380	340	310	350	380	400	400	370
	B0	12	22	22	22	22	22	23	23	28	28	28	28
		322	312	332	392	402	362	333	373	408	428	428	398
【参考】運用容量	昼間	350	330	350	380	320	370	360	390	420	460	470	390
	夜間	280	250	260	280	240	280	270	300	340	380	400	340

〔休日〕

（単位：MW）

方向	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北⇒東京	A1	460	450	450	690	690	580	450	470	610	640	640	560
	B0	12	22	22	22	22	22	23	23	28	28	28	28
		472	472	472	712	712	602	473	493	638	668	668	588
東京⇒東北	A1	290	270	280	320	330	310	300	330	360	380	360	320
	B0	12	22	22	22	22	22	23	23	28	28	28	28
		302	292	302	342	352	332	323	353	388	408	388	348
【参考】運用容量	昼間	300	260	300	330	300	330	310	330	370	340	400	340
	夜間	280	230	260	280	230	280	270	290	380	360	410	340

（説明）
- 区分についてはシート21、22を参照
- 区分A1にB0を加えた値とする
- ■ 個所は、昼間や夜間に運用容量を超えたマージンとなる場合があることから、昼間・夜間帯別に運用容量を上限にマージンを設定する（マージンが赤字の値となる）。想定需要の見直しや系統構成の見直し等により運用容量が変更となる場合は、マージンも変更する
- 想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

参考）マージンの分類と区分について

【予備力・調整力に関連したマージン】

内は当該区分に該当する現状のマージン

マージンの目的 ＼ マージンの分類	通常考慮すべきリスクへの対応			稀頻度リスクへの対応
	（参考）エリアが確保する調整力分※1	左記のうち、エリア外調達分	エリア外期待分	エリア外期待分
「需給バランスに対応したマージン」 需給バランスの確保を目的として、連系線を介して他エリアから電気を受給するために設定するマージン	電源Ⅰ	A0	A1 旧①旧②	A2 旧⑤
		（該当なし）	・最大電源ユニット相当 ・系統容量3%相当※2	・系統容量3%相当※3
「周波数制御に対応したマージン」 電力系統の異常時に電力系統の周波数を安定に保つために設定するマージン ※周波数制御（電源脱落対応を除く）のためにマージンを設定する場合は、「異常時」の表現の見直しが必要。	電源Ⅰ－a	B0	B1 旧③	B2 旧③
		・北海道風力実証試験	・東京中部間連系設備（EPPS：逆方向） ・北海道本州間連系設備（緊急時AFC：逆方向）	・東京中部間連系設備（EPPS：順方向） ・北海道本州間連系設備（緊急時AFC：順方向）

※1：表中には記載を省略しているが、電源Ⅱの余力も含む。
※2：従来区分①の系統容量3%相当マージンについては、長期計画断面では区分Dのマージンのほうが大きいため必要性を検討する必要性が無くなっている。一方、現在、前々日時点でエリア予備力不足時にはマージンを確保していることから、ここに記載している。
※3：ESCJの整理において、系統容量3%相当マージンに従来区分⑤（稀頻度リスク対応）に該当する観点が含まれることから記載

【出典】第11回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会　資料2に「北海道風力実証試験」を追記
http://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2016/chousei_jukyu_11_haifu.html

出典：第24回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会　資料１－２

参考）マージンの分類と区分について

【連系線潮流抑制による安定維持のためのマージン】

マージンの分類 ＼ マージンの目的	通常考慮すべきリスクへの対応	稀頻度リスクへの対応
「連系線潮流抑制のためのマージン」 電力系統の異常時に電力系統を安定に保つことを目的として、当該連系線の潮流を予め抑制するために設定するマージン	C1 旧④ ・北海道本州間連系設備（潮流抑制）	C2 旧④ ・東北東京間連系線（潮流抑制）

【電力市場取引環境整備のマージン】

マージンの分類 ＼ マージンの目的	電力市場取引環境整備
「電力市場取引環境整備のマージン」 先着優先による連系線利用の登録によって競争上の不公平性が発生することを防止するために設定するマージン	D （該当なし）

電力広域的運営推進機関
Organization for Cross-regional Coordination of Transmission Operators,JAPAN

【出典】第11回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会　資料2
http://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2016/chousei_jukyu_11_haifu.html

出典：第24回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会　資料１－２